

令和4年11月30日

小出小学校

伊米ヶ崎小学校

小出中学校

小出中学校区合同 学校保健委員会だより



10月31日(月)に小出小学校、伊米ヶ崎小学校、小出中学校合同で「学校保健委員会」を開催しました。各校の学校医、歯科医、耳鼻科医、薬剤師、市保健師、PTA代表、学校職員が参加しました。

健康診断や体力テスト、元気アップ週間の結果報告、新型コロナウイルス感染症の影響についての情報交換などが行われました。

健康診断の結果

1 体位

- ・伊米ヶ崎小学校女子は、肥満傾向児がやや多い。
- ・小出小学校と小出中学校は、るいそう傾向児(やせ)がやや多い。

2 視力

- ・小中学校の女子に、裸眼視力1.0未満が多い。

3 歯科

- ・一人平均むし歯数は、県平均より少ない。

4 その他

- ・小出小学校と小出中学校はアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎などのアレルギー性疾患の割合が多い。



元気アップ週間の取組状況(6月・9月)

<寝る時刻 低学年9:00まで、中学年9:30まで、高学年10:00まで、中学生11:00まで>

- ・目標時刻に就寝している子どもは、9月は6月と比較して、かなり減少している。
(小1~3年:82.5%→74.2% 小4~6年77.2%→72.9%、中学生65.0%→58.3%)

<メディア接触時間 2時間以内>

- ・学年が上がるにしたがって、メディアの接触時間が長くなっている。



<学習時間 小学生:学年×10分、中学生学年×10分+60分>

- ・学年が上がるにつれて、学習時間の確保ができていない。
- ・9月の調査では、時間達成できている中学生は49.8%となっている。



<寝る1時間前のゲームスマホをやめる>

- ・小学生では約8割の子どもができていますが、中学生では約半分の子どものみしかできていない。



新型コロナウイルス感染症の影響について 情報交換

過去5年間で、今年度は視力異常者の割合が小中学生共に一番多くなっています。

また、シャトルラン(持久力を測るテスト)の回数も今年度は、小中学生共に一番低い値です。

コロナ禍の影響が健康診断や体力テストの結果に影響していると思われます。



養護教諭

コロナ禍になり、子どもたちは、外遊びが減って、メディアとの時間が増加した。身体面の影響もあるが、コミュニケーション不足も危惧される。

耳垢が多いお子さんがいる。何度も繰り返す場合があるので定期的に通院して欲しい。



学校医

保護者



学校で持久走があった日は、家でとても疲れている様子がある。コロナ禍になって体力が落ちているかもしれない。コロナの影響で友だちと遊ぶ機会も減った。メディア依存や体調不良を訴えることもある。親子一緒に体力をつける機会を持っていきたい。

登校のきっかけがつかみづらくなっているお子さんが増加傾向にある。

家庭でも学校でも、充実感のある活動が欲しい。



保健師

コロナ禍になって、間食が増えているかもしれない。寝ている間に口内細菌が増えているので、寝る前の歯ブラシ習慣は、特に徹底して欲しい。



学校
歯科医



保護者

地域の様子を見ても、最近外で遊んでいる子どもが少ない。友だちとのコミュニケーションも不足している。ゲームやネットなどに時間を使い、その結果夜寝られないこともあるのでは……。よいモチベーションが持てるよう、励ましていきたい。